

IAMAS ARTIST FILE #02

9.27 (土)

前田真二郎・齋藤正和

14:00 ~ 16:00

「記録と行為／映像表現の現在形」

上映：

『休日映画 2009-2014』（約 60 分）

2014 / デジタル / カラー / 55 分 / 齋藤正和

作家コメント：

休日映画は、2009 年の第一子の誕生から続けている家族のビデオポートレートです。一番小さな共同体である”家族”をモチーフにしなが ら、”世間”、”世界”への意識も織り込み、子供の成長と時代の変遷が映り込むアーカイヴとなる事を意図して制作しています。スクリーンや TV モニターによる視聴ではなく、PC 上で動画共有サイトにアップロードした映像を視聴することを想定して制作している短編映像群であり、現在もアップデートし続けているプロジェクトです。

短編の映像群を制作しようと思い至ったのには様々な理由がありますが、Youtube に代表される動画共有サイトの映像視聴環境としての可能性への興味が大きかったと思います。映像の発表場所としてインターネットを想定してみると、映像表現へのこれまでとは異なるアプローチの可能性がみえてきます。このプロジェクトは、”更新される”、”短編”、”蓄積される”、”ネットワーク”、”群としての映像”、などをキーワードにすすめています。

本作品は上記の考えのもと制作された映像群を 1 つの映像作品としてまとめたものです。本来は PC 上で短編を次々とクリックし視聴する形態を想定して制作したのですが、1 つにまとめられることで固定された時間軸を得たこと、上映という形態をとることで当初想定していたものと全く質の異なるものとなりました。

休日映画サイト：<http://holiday-movie.tumblr.com/>

齋藤正和

1976 年大阪生まれ。2003 年情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 修了。同校 助教を経て現在は名古屋学芸大学講師。主な作品にコンピュータ自動編集による映像作品「Sunsession」や、岩下徹（ダンサー / 舞踏家）とのコラボレーション『動の影 岩下徹というからだ』がある。映像と他のメディアを組み合わせたインスタレーション作品を国内外で発表。

連絡先：masakazu.saito@gmail.com

澤隆志（トーク・ゲスト）

1971 年生まれ。映像作家・キュレーター。2001 年から 2010 年まで、映像アートの国内巡回上映展「イメージフォーラム・フェスティバル」のプログラムディレクター。現在はフリーランスで国内外の映画祭や「あいちトリエンナーレ 2013」などの美術展で映像プログラムを担当。